

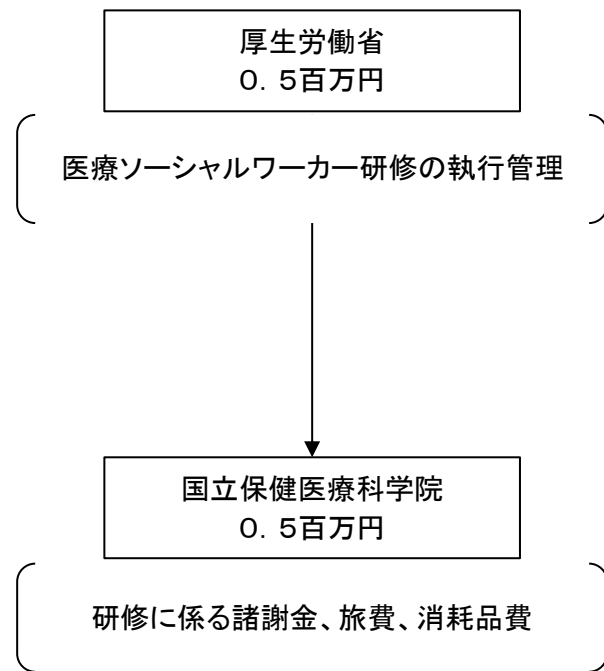
平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

<b>事業名</b>	医療社会事業従事者（医療ソーシャルワーカー）指導強化費		<b>担当部局庁</b>	健康局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	昭和63年度		<b>担当課室</b>	がん対策・健康増進課保健指導室		保健指導室長 山田 敏充		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>政策・施策名</b>	I-10-1 地域住民の健康の保持・増進及び地域住民が安心して暮らせる地域保健体制の確保を図ること				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	—		<b>関係する計画、通知等</b>	—				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	医療技術の高度化、専門分野及び福祉政策の拡充等に伴う社会保障制度全般の複雑化、多様化に対応できるように、地域における指導者を養成し、医療社会従事者全体の資質向上を図る。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	医療ソーシャルワーク部門のリーダーが病院内外のソーシャルワーク活動を戦略的にマネジメントするために必要な知識・技術を習得するための研修を国立保健医療科学院において実施する。							
<b>実施方法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算 の 状 況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		当初予算	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	
		補正予算						
		繰越し等						
	計	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8		
	執行額	0.3	0.6	0.5				
執行率(%)	37.5	75	62.5					
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標		成果実績	単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	医療ソーシャルワーカー研修参加者数			人	91	95	96	対前年度以上
			達成度	%	100	100	100	
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	医療ソーシャルワーカー研修回数			人	2	2 ( - )	2 ( - )	— ( - )
<b>単位当たりコスト</b>	5,664(円/成果実績)		算出根拠	平成24年度執行額/平成24年度医療ソーシャルワーカー研修参加者数				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0.3	0.4					
	委員等旅費	0.1	0.1					
	庁費	0.4	0.3					
	計	0.8	0.8					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費 必要 投入の	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	患者等が安心して退院、社会復帰できる体制づくりを推進するため、国費を投入して継続的に医療ソーシャルワーカーの資質向上に取り組む必要がある。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	日本の医療制度や医療ソーシャルワーカーの現況等、医療ソーシャルワーク活動を戦略的にマネジメントするために必要な高度の知識・技術の習得を国として統一的に実施することを目的としており、国において実施する必要がある。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	患者等が安心して退院、社会復帰できる体制づくりを推進するため、継続的に医療ソーシャルワーカーの資質向上に取り組む必要があり、優先度は高い。		
事業の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	-		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○	研修参加人数の増加により、単位あたりのコスト削減に努めており、妥当な水準である。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	医療ソーシャルワーカーの資質向上のための研修経費としている。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	研修に係る謝金、旅費、消耗品等に係る支出を抑えたこと等により不用が生じた。		
事業の 有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	医療ソーシャルワーカー研修参加者数に増加に伴い、コスト削減に努めており、低コストで実施できている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-	-		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-		
重複 排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
	-	-	-			
	-	-	-			
点検 結果	患者等が安心して退院、社会復帰できる体制づくりを推進するため、継続的に医療ソーシャルワーカーの資質向上に取り組む必要があり、24年度は研修参加者数など成果も増加してきていることから、適切に執行されており、今後も引き続き、推進すべき事業と判断。					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状 通り	医療ソーシャルワーカーへの研修等により質の向上を図るための事業であるが、事業の必要性及び執行の観点からも妥当であり、引き続き効率的な執行となるよう努めるべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状 通り	-					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年		平成23年	0273	平成24年	0237

平成24年度



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて補足する)  
(単位: 百万円)

<b>費目・使途</b> (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.			E.			
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
	計			0	計		
B.			F.				
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)		
計			0	計			0
C.			G.				
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)		
計			0	計			0
D.			H.				
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)		
計			0	計			0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					